



尼崎市立立花中学校

学校だより

令和4年9月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

実りの秋 2学期のスタート

校長 岡本 修一

朝夕の風をほんの少し涼しく感じるようになりました。長い夏休みが終わり、笑顔の生徒たちが久しぶりに校庭に戻ってきました。35日間の夏休みが終わり、今日は2学期始業式でした。生徒たちは元気よく登校し、しっかりと挨拶ができています。熱中症とコロナ感染予防を徹底し、2学期の学習がスタートしました。

【実りの2学期に・・・】

私は、始業式で生徒たちに次のような話をしました。「今日から2学期が始まります。3年生は修学旅行、進路決定、2年生はトライ・やるウイーク、1年生は、中学校ではじめての合唱コンクール、文化活動発表会など大きな行事が目白押しになります。・・・皆さんの頑張る姿をとっても楽しみにしています。・・・毎日学校で繰り返し勉強をすることで、頭と、体と、心を鍛えています。また、仲間と共に、集団で学ぶことで、仲間を思いやり、協力し、助け合うことの大切さを学んでいます。これは、学校でしかできない体験学習です。2学期の大きな行事を通して、頑張る心と、仲間と共に協力し合い、助け合うことをしっかり学びましょう。歌や作品制作が得意な人もいれば、苦手な人もいます。しかし、仲間と一緒に協力し、力を合わせれば苦手を克服できることが沢山あるでしょう。みなさんが力を合わせて取り組みながら、一人一人が成長しましょう。・・・これらの取り組みの中で、なかなか思うような結果が出なくて残念で、悔しい、つらい気持ちになることもあるでしょう。でもそれは皆さんが、さらに強く成長できるチャンスですね。そう信じて前進しましょう。2学期に皆さんの頑張る姿、輝く姿を楽しみにしています。さあ、自分の力を信じ、友だちと助け合い、みんなで笑顔いっぱいの2学期にしていきましょう。」保護者の皆様には、お子様の学校でのがんばりを見守り、応援していただきますよう宜しくお願いいたします。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」田んぼの稲は順調に育ち稲穂が豊かに実っています。収穫の時期も近くなりました。農家の方々は、昔から苗代づくりから、お米として私たちに届くまで、手間暇かけて、大切に育てています。八十八回もの手間をかけて育てるため、感じて「米」と書くとも言われています。

生徒の皆さんも、何かを目指し、それを達成しようとするとき、このお米作りのように、心をこめて丁寧に時間をかけ、粘り強く努力を惜しまず「実りの2学期」の収穫をしましょう。

【夏の総合体育大会、コンクールがおわりました】

8月21日の全国大会閉会をもって、令和4年度中学校総合体育大会が終わりました。今年も全ての生徒たちは、立花中学校の代表として素晴らしいパフォーマンスをみせてくれました。陸上部の全国大会 110mハードルで第2位をはじめ、水泳部は近畿大会まで勝ち進むことができました。また吹奏学部は阪神中学校の金賞(代表)として、兵庫県コンクールで銀賞とすばらしい演奏ができました。



【自然災害への対策をご家庭で】

9月1日は「防災の日」です。1923年に起きた関東大震災にちなんでこの日に決められたそうです。私たちは、台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備することが大切です。この度の大雨による洪水、土砂災害など、今年も日本各地で大きな災害が起きています。自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。以前、次のようなCMがありました。「いつ災害が来るか？どこで災害に遭うか？どんな災害か？」「答えはない。が、備えはできる。」「さあ、家族で話そう。例えば、防災グッズをチェックしながら。避難場所や連絡手段はもちろん、電池やライター、手袋など20種類くらいは必要だ。」「時間や場所、天気や気温、いつ、どこで、どんな災害か、その時を想像しながら。」「そして、備えを、揃えよう。そう、いまのうちに。」「・・・「自分の命は自分で守る」観点から、災害時の対応についてご家族の話し合い、災害に備えましょう。



【お願い】

「ミマモルメ」の登録がお済みでない保護者の方は、登録をお願いいたします。ミマモルメの「欠席遅刻等連絡受付機能」活用をすでに開始しております。ご活用いただきますようお願いいたします。